

# 平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 5104 事業名: 農業振興事業  
 細事業名: 各種団体関係事業

政策体系上の位置付け (参考)  平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る  
 基本施策: 3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる  
 主な施策: (3) 農業

所管部署名  
 部局名: 農林商工部  
 課 名: 農政課

科目CD. 1060103 作成日 平成20年10月22日  
 事業分類: B:ソフト事業  
 新規事業  時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)

事業運営方法  直営  一部委託  全部委託  補助等  
 委 託 先  民間  三セク  NPO  学校  自治会・地縁団体  
 その他 ( )

事業概要	
◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)	園部町農業公社保有面積を増やさないよう農家意欲を高め特産物生産を少しでも増やす。美山町内の米生産農家畜産農家を減らさず環境保全型農業を行う水田面積を少しでも増やす。花友の会の活動参加者を増やし地域全般に地域環境美化を積極的に訴える。
◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)	(財)園部町農業公社、美山ふるさと(株)、園部町花友の会等の該当事業に対して補助金を交付し支援した。
◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)	園部町農業公社の支援を受ける農家。美山ふるさとの支援を受ける米生産農家・畜産農家。花友の会参加者・地域住民全般。
◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)	園部町内特産物生産量を増やした。美山町内環境保全型農業を行う水田面積を増やした。地域全般に環境美化を積極的に訴えた。

指 標		単位	18実績	19実績	20予算	21計画
活動指標	① 園部町農業公社への補助金			精 査 途 中		
	② 美山ふるさと(株)への補					
	③ 花友の会への補助金					
	④					
	⑤					
対象指標	① 園部農業公社(中間)保有			精 査 途 中		
	② 美山米生産・畜産農家数					
	③ 花友の会活動参加者数					
成果指標	① 園部町内地産地消取組農家			精 査 途 中		
	② 美山町内環境保全型農業水					
	③ 植花回数、教室開催回数					

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

財源内訳	決算(予算)額	(千円)	59,682	22,100	15,627	15,627
	使用料・手数料等	(千円)	0	0	0	0
	国・府支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	59,682	22,100	15,627	15,627
職員従事時間		(人)		0.17		
人件費 ※		(千円)		1,141		
トータルコスト ※		(千円)		23,241		

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

※人件費は、職員の給与・諸手当で・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。  
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業     市が実施すべき事業     行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない     民間等での実施も可能

説明: 行政がすべき事業だが、民間等で実施いただくため補助金で支援

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業     施策等の方向とマッチしていない

説明: 地域ごとの課題に対応した事業である

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である     的を得た対象となっていない

説明: 特色ある地域づくりに必要である

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     予想しても有効的でなかった

説明: 指標的にほぼ想定どおり

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     想定よりも有効的でなかった

説明: 指標的にほぼ想定どおり

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい     小さい     無い

説明: 各々の指標が増加した (増加が見込める)

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能     統合や連携はできない     類似事業がない

説明: 類似事業は見つからない

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

花友の会については、環境推進事業として必要であるが、農業ではなく環境施策窓口への位置付けを希望。

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある     他事業よりも効果が大い     早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い     市民の生命・財産を守るため     緊急性は低い

説明: 各々緊急の課題である

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり     削減の余地なし

説明: 民間活力を利用しているものであり削減し難い

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担     見直す必要あり     負担を強いる事業ではない

説明: 100%補助ではなく止むを得ない

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き     協働では実施していない     協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部     市民等が主体となって実施

説明: 補助金と相手自己資金を比較すると補助金額が多い

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり     余地なし

説明: 100%補助ではなく止むを得ない

所 属 長 総 括 評 価

各団体とも地域に根ざした活動や地域課題を解決する使命を得ており、今後とも活動内容の精査と事業拡大のための支援は必要と考える。

※事務局使用欄

一次評価	要改善 (縮小)	市として各団体に担ってもらう役割を明確にし、その役割に応じた委託料を支払う方が良いのではないか。
二次評価	継続 (現状維持)	農業の課題に対して大きな役割を担っているため、今後より一層の充実を図ることが必要。 花友の会についても重要であり、南丹市全体の取組として推進していくことが必要。(担当窓口も要検討)